



この取扱説明書を最後までよくお読みください。

防音・吸音・制振等の効果は、使用される素材だけでなく、正しい手順で貼り付けたかによって大きく変わります。防音材を誤って貼り付けると、効果が適切に現れない恐れがあるのでご注意ください。

防音を施すことのできる部分：

ドア

-フロアとホイールウェル（内側からのみ）

トランクとトランクリッド

ルーフ

フロアとホイールウェル（内側からのみ）

リアデッキ

ボンネット（ウレタンの特殊なボンネット防音シートと併用）

防音材の取り付け作業に必要なもの



① Noico デッドニング材

② カッターナイフまたはハサミ

③ 印をつけるためのペンまたはマーカー

④ メジャー

⑤ 手袋

⑥ 防音材を平らにする専用のローラー

⑦ 脱脂剤と表面の汚れを拭き取る布

準備

ステップ 1

最初に防音する車の部分（ドア、床、屋根、トランク、ボンネット）を決めます。防音を施した各箇所に防音の効果は現れ、各箇所の防音の効果が合わさることによって、車が全体的に防音されるようになります。そのため、上記のすべての主要部分に防音材を貼り付けると、防音効果が高まります。

ステップ 2

インターネットの専用サイトや掲示板で、お使いの車種の内張りを取り外す方法の説明を見つけて、それをしっかりと読んでください。次に、防音を施す部分の内張りを取り外してください。内張りを取り外すときは、ファスナーを壊さないように注意してください！ファスナーを外す際には、専用のクリップリムーバーを使用してください。

ステップ 3

内張りを取り外した後、元からついている防音シートの素材を確認してください。ジュートやその他の繊維質材料でできている場合は、元からついている防音シートを取り外し、Noicoの防音材の上に貼り直します。元から付いている防音シートが硬質ビチューメンプレートで作られていて、それが傷ついたりまたは剥がれている場合は、それを取り外してNoicoをその場所に貼り付けます。ビチューメンでできた元から付いている防音シートが傷ついていない場合は、防音シートの表面を完全にきれいにし、油分を取った状態でNoicoを上貼り付けます。

ステップ 4

防音材を貼り付ける前に、脱脂剤と汚れを拭き取る乾いた布で表面を徹底的にきれいにし、油分を拭き取ってください。上手く貼り付けるには、表面が乾燥していて汚れのない状態でなければなりません。濡れているまたは汚れた表面に塗布すると、防音材は固定されず長持ちしません。作業をする際には、手袋を着用し、こまめに部屋を換気することをお勧めします。

* 表面が脱脂剤で傷つかないか確認するために、
まず狭い範囲で試してください。

防音材の取り付け

ステップ 1

防音材を貼り付ける前に、貼り付ける表面にほこり・水分・油分がないことを確認してください。防音材を貼り付ける部分の寸法を測ります。まず、段ボールで必要なサイズの型紙を作成することをお勧めします。事前に型紙を作成すると、時間、労力、材料を節約できます。

ステップ 2

カッターナイフやはさみを使用して、型紙に沿って材料を適切にカットします。取り付けが終わるまで、注意して、手を保護するために手袋を使用してください。

ステップ 3

切断した防音材を、貼り付ける表面に当ててみます（保護紙は、はがさないでください）。サイズが合っていることを確認し、その後保護紙をはがしてください。保護紙を勢いよくはがさないでください。防音材の接着剤層を傷つけないように、ゆっくりと徐々にはがす必要があります。

ステップ 4

シートを貼り付ける準備ができれば、粘着面を金属の表面にしっかりと接着します。シートを手で広げ、金属と防音材の間にある気泡や凹凸を取り除きます。


ステップ 5

このとき、防音材を表面へしっかりと接着するために、防音材を平らにする専用のローラーを使用します。アルミ箔の特殊な凸エンボス加工を見れば、防音材が適切に貼り付けられているかどうか判断できます。アルミ箔が完全に滑らかで平らになるまで、ロールを転がしてください。


ステップ 6

今度は、逆の順序で、車から取り外した内張りを取り付けてください。すべての部品があるべき場所にうまく収まり、隙間がないことを確認してください。隙間がある場合は、カッターナイフでファスナーと留め具にあたる部分の防音材を切り抜いてください。

これで車の防音作業完了です。



きちんと防音材をローラーで平らにすると、
防音材の下の表面の腐食を防げます！



上手く取り付けるコツ:

- ✔ アルミ箔の端が鋭利になっているおそれがあります。手を保護するため手袋を使用してください。
- ✔ 周囲温度、材質温度、車の金属部分の温度が15°C (5°F) 以下だと、マットを貼り付けるに適切ではありません。温度が低い場合は、ヒートガンを使用して防音材と表面を30~40°C (88-104°F) に加熱してください。しかし、車の塗料を傷つけないようにするため、温度をそれ以上高くしないでください。上記の温度で、防音材の接着性能が最も発揮されるので、貼り付けに最適です。
- ✔ シートの継ぎ目や防音材の端を隠すには、アルミシートテープを使用してください。
- ✔ 補強材に防音材を取り付けたり、換気孔や排水孔を密閉したりしないでください。
- ✔ 車の40-50%をカバーするだけで良い効果が得られるとネット上で言われていますが、車の表面の100%を断熱すると効果が最大になります。簡単なテストとして、手で金属表面を軽く叩いてください。



当社の防音材の取り付けについてご質問がある場合は、メールでお問い合わせください。
1~2営業日以内に詳しく回答いたします。



問い合わせメールアドレス: sales@noico.info



ご注意:

- ✓ 本製品は車内用です。
- ✓ 金属の表面を下塗り、または塗装する必要があります。
また、防音スプレーを吹きかけた部分にNoicoの防音材を貼り付けることはお勧めしません。
Noicoの防音材に防音スプレーを吹き付けても、防音スプレーの効果が現れない恐れがあります。
- ✓ 本製品は、ほこり・水分のない金属表面にのみ使用できます。
- ✓ 貼り付けられた防音材の許容動作温度は、-45℃ (-49°F) から 100℃ (212°F) の範囲です。短期間であれば、200℃ (392°F) まで耐えられます。この防音材をマフラー、触媒コンバーター、ディーゼル排気微粒子除去装置などの断熱材として使用しないでください。上記の用途では、480℃ (896°F) から 1650℃ (3002°F) の温度に耐えられる専用のものを使用する必要があります。
- ✓ 製品はほぼ無臭です。しかし、ブチルゴム系材料に特有の臭いがわずかにする場合があります。この臭いは、貼り付け後しばらくすると消えます。
- ✓ 本製品は、はがした後再利用することはできません。
- ✓ 安全上の注意事項を守ってください。



当社の防音材の取り付けについてご質問がある場合は、メールでお問い合わせください。
1~2営業日以内に詳しく回答いたします。

問い合わせメールアドレス: sales@noico.info

